

南あわじ警察署

管内の交通情勢

南あわじ警察署管内の特徴として、幹線道路は国道28号が南北に、主要県道が東西にあり、交通量が多く、交通事故也多発しています。また中学校、高校はほとんどの学生が自転車を利用しており、登下校中の交通事故が散見されます。特に重点地区に指定している潮見台地区は高台で、中学校もあることから、登校中に車と衝突する事故、下校中に下り坂で衝突、転倒する事故などが発生するおそれがあります。

自転車指導啓発重点地区(潮見台地区)

※重点地区選定理由：同地区内に所在にする南淡中学校へ登下校する中学生は、ほとんどが自転車通学であるが、高台にあることから急な坂の上り下りに際し、自転車関係事故の発生が懸念されるため

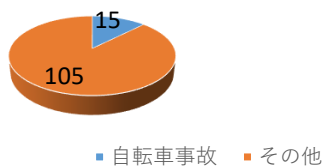


この地区での自転車利用者への注意点

- > 下り坂でのスピードの出し過ぎに注意!!(他車や歩行者との衝突に繋がります)
- > 自転車の並進の禁止!!(自転車は他の自転車と横に並んで走行してはいけません。)

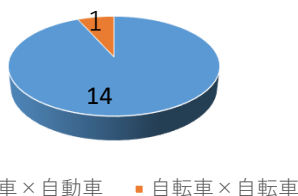
管内の交通事故発生状況 令和6年3月末現在

令和5年自転車事故割合



※令和5年発生的人身事故120件の割合

令和5年自転車事故類型



令和5年中の自転車事故の特徴

- ・ 市内では、令和5年中に発生した人身事故120件中15件(約12%)が自転車関連事故でした。
- ・ 15件の自転車関連事故のうち、14件が自動車と衝突する事故で、1件が自転車同士の事故でした。
- ・ また、15件中、学生の登下校中の事故が5件発生しています。
- ・ 交差点付近での出合頭、追い抜き、すれ違い時の事故が多発しています。

朝の通勤時間帯では、自転車、歩行者問わず、横断歩道を渡る生徒がおります。余裕を持って出発し、通学路付近では注意しましょう!